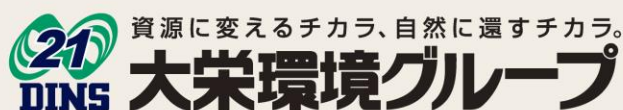


環境経営レポート 2024

対象期間（2024年4月～2025年3月）



株式会社東北エコークリーン



作成日 2025 年 6 月 1 日



登録番号:0014044

目次

	P.1
1.会社概要	P.2
2.沿革	P.3
3.対象組織	P.4
4.エコアクション21実施体制の構築・役割分担表	P.5
5.管理型最終処分場の概要	P.6
6.環境経営方針の策定	P.7
7.事業の範囲・許可一覧	P.8
8.車両・重機保有台数と保有資格一覧	P.9
9.環境関連法規等の遵守状況	P.10
10.環境関連法規の遵守状況及び違反、訴訟の有無	P.11
11.みどりの活動（年間を通して）	P.12
12.環境経営活動計画目標	P.13
13.環境経営活動計画実績・取組結果の評価	P.14
14.次年度環境経営活動目標	P.15
15.環境活動の取組事例	P.16
16.環境コミュニケーション記録	P.17
17.その他の活動・取組（１）～（６）	P.18～23
18.代表者による全体評価と見直し	P.24



1.会社概要

(1) 会社名及び代表者名

会社名：株式会社 東北エコクリーン

代表者：代表取締役 大田 成幸

(2) 所在地

〒963-3314 福島県田村郡小野町大字塩庭字熊田38番地

(3) 環境管理責任者及び連絡先担当者

環境管理責任者：担当部長 栗原 大輔

環境管理事務局：連絡先担当者 並木 恵美子

連絡先電話番号：TEL 0247-72-6657 / FAX 02417-72-6658

E-mail： namiki9704@dinsgr.co.jp

ホームページ： <https://www.dinsgr.co.jp>

(4) 事業内容

■産業廃棄物処理業

(5) 事業の規模

①創立：平成21年9月8日

②資本金：1億円

③従業員数：12名

④廃棄物埋立処分の実績



2024年度搬入量

16,540m³

2024年度売上高

520百万円

(6) 資格・認許可

◆産業廃棄物処理業許可証 福島県 【許可番号：第00730163306】

◆特別管理産業廃棄物処分業許可証 福島県 【許可番号：第00780163306】

◆産業廃棄物収集運搬業許可証 福島県 【許可番号：第00702163306】

◆特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証 福島県 【許可番号：第00752163306】

(7) 対象範囲

対象範囲は、全組織・全活動を認証登録の対象にしている。

2.沿革

- H 2. 8. 2 (株) 丸五産業 (もやし工場) の自社用の管理型最終処分場として
設置許可 / 廃プラスチック類・動植物性残さの 2 品目 許可取得
- H21. 9. 8 東北エコークリーン創設 譲渡
- H26.10. 9 産業廃棄物処理施設変更許可申請書提出・受理
- H29. 5.31 産業廃棄物処理施設変更許可取得
- H30.12.25 大栄環境グループ参入
- R 2. 1.14 管理型最終処分場造成工事 着工
- R 4. 1.31 管理型最終処分場造成工事 完了
- R 4. 3.11 産業廃棄物処理業の事業範囲変更許可申請書
特別管理産業廃棄物処分業 許可申請書提出・受理
- R 4. 3.30 産業廃棄物 14 品目・特別管理産業廃棄物 1 品目の
15 品目 許可取得
- R 4. 4. 9 管理型最終処分場 竣工
- R 4. 5.12 産業廃棄物収集運搬業 許可申請書提出・受理
特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可申請書提出・受理
- R 4. 6.20 産業廃棄物収集運搬業 許可取得
特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- R 5.11. 9 エコアクション21認証・登録 (登録番号 : 0014044)

3.対象組織



大栄環境グループ

株式会社東北エコークリーン

代表者
代表取締役 大田 成幸

環境管理責任者
栗原 大輔

エコアクション21事務局
並木 恵美子

エコアクション21委員会
華山 昌珠
奥村 稔
南茂 亮太
松本 一也
吉田 淳子

4 .エコアクション21実施体制の構築・役割分担表

役割・責任・権限													
代表者	事業所の代表者であり、かつ、環境経営システムに関する全ての責任と権限を有する。	①環境方針の策定及び見直し	②人的資源及び専門的な技能、技術、資金の準備並びに配分	③環境管理責任者の任命	④EA21委員の任命	⑤EA21マニュアルの承認	⑥環境経営目標、環境経営計画、環境経営活動計画実績一覧表の承認	⑦環境経営目標の取組評価と今後の具体策の承認	⑧環境経営システムの見直し				
環境管理責任者 (代表者に任命された者)	代表者に代わり、環境経営システム全体の構築・運用に責任を持ち、それに必要な権限を有する。	①代表者へ環境経営システムの実施及び運用状況、実績等の報告	②代表者からの指示事項の伝達	③環境への取組の自己チェック評価の承認	④環境経営目標の達成状況の評価及び代表者への報告	⑤環境経営活動計画、環境経営計画実施一覧表の評価及び代表者への報告	⑥環境経営目標の取組評価と今後の具体策の達成状況の評価及び代表者への報告	⑦環境教育訓練計画の承認	⑧緊急事態の承認	⑨環境関連法規順守の状況	⑩問題点は正処置に関する承認	⑪環境コミュニケーションの対応に関する承認	⑫EA21委員会の招集、出席及び議題の審議
事務局 (代表者に任命された者)	環境経営システムの取りまとめ及び維持管理を行う。	①環境経営目標一覧の作成	②環境経営活動計画、環境経営活動計画実施一覧表の取りまとめ	③環境経営目標の取組評価と今後の具体策の取りまとめ	④EA21マニュアルの作成及び維持管理	⑤EA21審査人による審査への対応	⑥「法令順守事項月次確認表」の配布及び回収	⑦文書、記録の管理	⑧環境経営システムの事務作業全般	⑨環境経営活動レポートの作成	⑩問題点は正処置に関する承認 EA21委員会の招集、出席及び議事進行、議題の審議		
EA21委員 (代表者に任命された者)	担当する業務の環境経営システム全般を維持・管理する。	①環境への負荷の自己チェックの作成	②環境への取組の自己チェックの作成	③担当する業務の環境経営目標の策定	④担当する業務の環境経営活動計画の策定及び実施	⑤事業所全体に係る環境教育訓練計画の策定及び実施	⑥事業所全体に係る緊急事態の特定	⑦EA21委員会への出席及び議題の審議、議事録作成	⑧問題点は正処置の実施	⑨その他、担当業務の環境に関する業務全般			
総務・庶務	事業所内担当者	①環境経営活動計画の実施及び是正・改善	②環境教育訓練計画の実施及び是正・改善	③EA21活動の社外PR	④課内の環境コミュニケーションの対応及び管理並びに是正処置	⑤事務所棟の管理							
計量担当者	事業所内担当者	①環境経営活動計画の実施及び是正・改善	②環境教育訓練計画の実施及び是正・改善	③所内の環境コミュニケーションの対応及び管理並びに是正処置	④計量設備の管理								
管理型処分場 水処理担当者	事業所内担当者	①環境経営活動計画の実施及び是正・改善	②環境教育訓練計画の実施及び是正・改善	③事業所全体に係る環境教育訓練計画の策定及び実施	④事業所全体に係る緊急事態の特定	⑤環境関連法規の特定、監視及び評価	⑥事業所内の環境コミュニケーションの対応及び管理並びに是正処置	⑦水処理施設管理棟、プラントの管理	⑧分析室・分析関連機材の管理				
EA21委員会 (原則月1回以上開催する)	メンバー（招集は環境管理責任者または事務局）	①環境管理責任者	②事務局	③EA21委員	④その他、環境管理責任者が認めた者								
	審議内容	①環境経営方針の達成状況	②環境経営目標、環境経営活動計画の進捗	③環境教育訓練計画の推進	④問題点の是正処置	⑤環境経営システムに関する事項	⑥代表者の指示事項	⑦環境パフォーマンスに関する事項	⑧外部からの環境に関する苦情、要望	⑨その他、環境に関する事項			

5.管理型最終処分場の概要

私たちはリサイクルとして再生不可能な産業廃棄物を最終処分する事業を行っており、県内では数少ない特別管理産業廃棄物の埋立処理が可能な会社です。

項目		内容
■ 営業時間		午前8：00～午後5：00（日曜・祝日を除く）
■ 搬入時間		午前9：00～午後5：00（12:00～13:00を除く）
最終処分場		
埋立面積/埋立容量		23,218,1㎡ / 249,995㎡
処理品目	産業廃棄物	①燃え殻②汚泥③廃プラスチック類④紙くず⑤木くず ⑥繊維くず⑦動物性残渣⑧ゴムくず⑨金属くず ⑩ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず⑪鋳さい⑫がれき類⑬ばいじん ⑭施行令第2条第13号に掲げる産業廃棄物 14品目
	特別管理産業廃棄物	廃石綿等 1品目
処分場形式・埋立構造		準好気性埋立構造（サンドイッチ・セル工法）



浸出水処理施設	
処理能力	200㎡/日
浸出水調整槽容量	5,880 t
処理方式（水処理）	カルシウム処理→生物処理→沈降分離処理→活性炭吸着→ 二層ろ過→自動分析装置 ○ → 放流 × 浸出水貯水槽（リターン） ←
処理方式（汚泥処理）	汚泥貯留＋遠心脱水
放流水	直近の用水路から十石川～夏井川



6.環境経営方針の策定

環境理念

「私たちは、事業の社会的責任を強く認識し、最良の技術とサービスにより、人・地域・地球にやさしい企業を目指し、常に挑戦し続けます。」

環境経営方針

1. 関連する法規、地域条例・協定を順守し、地域社会と共に事業を展開します。
2. 廃棄物の適正処理を推進し、持続可能な循環型社会の形成を目指します。
3. 社有車・重機等の燃料使用量、設備の電力使用量および、CO2排出の削減に努めます。
4. 地域環境保全活動に積極的に参加し、社会貢献活動を推進します。
5. 水資源の節約、汚水の適正処理及び漏洩防止により、環境の保全に努めます。
6. 廃棄物処理に伴う化学物質使用量を把握し、適正な使用及び管理に努めます。
7. PDCAサイクルに基づき、環境の意識向上に努め、環境経営の継続的改善を行います。
8. 環境経営方針は、全従業員に周知させると共に社内外に公開します。

行動指針

- ◎環境の保護・持続可能性を意識し、個人から行動する。
- ◎事業所周辺地域の環境を絶えずチェックし、負荷低減を目指す。
- ◎地域の美化・緑化を推進し、やすらぎを提供する。
- ◎教育・訓練を通じ、環境に対する知識と想いを育てる。

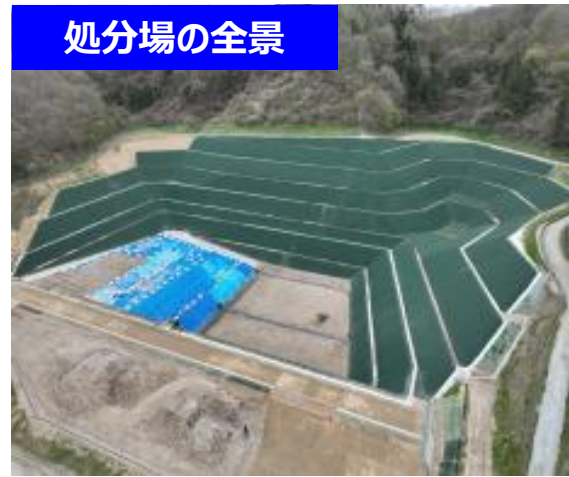
制定:2022年9月8日



株式会社 東北エコクリーン
代表取締役 大田 成幸

7.事業の範囲・許可一覧

処分場の全景



処分場遮水構造

①遮光マット t=10mm

②遮水シート t=1.5mm

③保護マット t=10mm

④遮水シート t=1.5mm

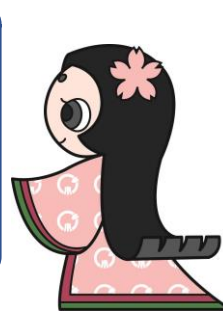
⑤保護マット t=10mm

⑥ベントナイトシート t=4.5mm

遮水シート5層構造 + ベントナイトシート + 検知システム

ベントナイトとは？・・・ベントナイトは粘土鉱物で層の間に多くの水分を吸収して膨らむ性質を持ち、これを膨潤性と呼びます。これにより遮水層に生じた穴や亀裂に対する自己修復機能を保有します。

検知システムとは？・・・本システムは、処分場内遮水シートの上側と下側に設置した電極間に電圧を加え、遮水シートに破損があれば電流が破損部を通して流れることを原理としております。随時測定を行い、外部への公害や悪影響を及ぼさぬよう未然防止に努めています。



■産業廃棄物の種類

事業の区分 最終処分（埋立）

- ① 燃え殻 ② 汚泥 ③ 廃プラスチック類 ④ 紙くず ⑤ 木くず ⑥ 繊維くず
⑦ 動植物性残さ ⑧ ゴムくず ⑨ 金属くず ⑩ ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。) 及び陶磁器くず ⑪ 鉱さい
⑫ がれき類 ⑬ ばいじん ⑭ 施行令第2条第13号に掲げる産業廃棄物（これらのうち石綿含有産業廃棄物、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上14品目

■特別管理産業廃棄物の種類

廃石綿等 以上1品目

管轄	許可番号	許可年月日	有効年月日
産業廃棄物処分業許可証			
福島県	第00730163306	令和4年3月30日	令和8年11月20日
特別管理産業廃棄物処分業許可証			
福島県	第00780163306	令和4年3月30日	令和9年3月29日
産業廃棄物収集運搬業許可証			
福島県	第00702163306	令和4年6月20日	令和9年6月19日
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証			
福島県	第00752163306	令和4年6月20日	令和9年6月19日

8.車両・重機保有台数と保有資格一覧

車種	
4tダンプ	1台
4tアームロール	1台
乗用車	5台



保有資格一覧		人数
最終処分場技術管理士		3名
土木施工管理技士	1級	2名
監理技術者		2名
清掃施設監理技術者		1名
石綿作業主任者		1名
主任計量者	一般主任計量者	2名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 技能講習		2名
危険物取扱者免状	乙種4類	2名
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業 主任者技能講習		1名
大型特殊自動車免許		3名
大型自動車免許		4名
車両系建設機械（整地運搬積込掘削 用）運転技能講習		6名
フォークリフト運転技能講習		4名
玉掛け技能講習		5名
クレーン運転業務特別教育		5名
上級救命講習		1名

重機	
0.8m ³ バックホウ	1台
ホイールローダー	1台
フォークリフト	1台

納車時安全祈願



私たちは日常において有資格者の適切な管理業務、作業指示を徹底して、
事故・災害を起こさない職場を目指しています。



9.環境関連法規等の遵守状況

主な適用法規	適用内容	遵守状況
環境基本法	環境基本法(事業者の責務、国民の責務)	○
消防法	少量危険物貯蔵・取扱届出書	○
	危険物屋外タンク貯蔵所設置許可申請	○
	危険物保安監督者選任届出	○
	防火対象物使用開始届 および 消防設備等点検・記録の保管・報告	○
	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は 取扱いの開始届出書	○
クレーン等安全規則	クレーン設置報告書(吊り上げ荷重0.5t以上)	○
	自主検査・点検・点検記録の保管	○
ダイオキシン類対策特別措置法	廃棄物最終処分場の維持管理 および 設置者による測定と結果報告	○
毒物及び劇物取締法	毒物又は劇物の取り扱い (盗難、紛失、漏洩、流出の防止の義務等)	○
	容器、被包、貯蔵所への表示 および 事故の際の応急措置や通報等の義務	○
電気事業法	保安規程届出 および 遵守	○
	主任技術者の選任	○
浄化槽法および浄化槽法施行規則	定期検査 および 保守点検	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	処分受託者管理表の写し送付 および 保管	○
	産業廃棄物収集運搬業 許可取得・変更・更新	○
	産業廃棄物処分業 許可取得・変更・更新	○
	産業廃棄物処理基準の遵守	○
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可取得・変更・更新	○
	特別管理産業廃棄物処分業 許可取得・変更・更新	○
	特別管理産業廃棄物処理基準の遵守	○
	産業廃棄物処理施設の維持管理の実施	○
	産業廃棄物処理施設維持管理状況の公表	○

10.環境関連法規の遵守状況及び違反、訴訟の有無

上記環境関連法規に関して遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係当局からの違反の指摘ありませんでした。同様に、訴訟についても創業以来1件ありません。

環境管理責任者	環境管理事務局
	

全体朝礼の様子（毎朝）

クリーンデー（毎月）



地域のゴミ拾いを中心にきれいな景観の維持に努めています。



毎日元気にラジオ体操！！
大きな声で指差呼称！！



線量測定（毎回）

定例会議（毎月）



線量測定は当社担当者・小野町役場により毎回実施しています。



11.みどりの活動 年間を通して



花の管理は当番を決めて行っています。



『大栄環境グループでは、一年中花が咲き誇る場内を目指して年間を通じ全員で活動中です』



12.環境経営活動計画目標

環境方針	環境目標	課題(何を)	具体的方法 (どのように)	2022年度の実績を基準(BM)として環境目標				
				単位	基準(BM)	目 標		
					2022年度	2022年度	2023年度	2024年度
省エネルギー	二酸化炭素排出量の削減	購入電力の削減	不要時間の照明消灯の徹底 冷暖房の適切な温度管理	kwh	160,320	158,717 99%	157,114 98%	155,510 97%
		軽油使用量の削減	エコドライブの更なる徹底で削減を図る 効率的(燃費)な運転方法を心掛ける 車両の定期的なメンテナンスの徹底	L	41,560	41,144 99%	40,729 98%	40,313 97%
		二酸化炭素排出量(購入電力+軽油)の削減	二酸化炭素排出量の実績確認	kg-CO2	180,491	178,686 99%	176,881 98%	175,076 97%
節水活動	総排水量の削減	排水量	浸出水の負荷に合わせた設備運転を行う	m3	9,516	9,421 99%	9,326 98%	9,231 97%
廃棄物の削減	廃棄物排出量	廃棄物排出量(ごみ)	裏面をコピー用紙に再利用する 分別の徹底、リサイクルに出す	kg	600	594 99%	588 98%	582 97%
廃化学物質の適正管理	化学物質消費量の記録	化学物質	苛性ソーダ メタノール ポリ硫酸第二鉄 硫酸 炭酸ソーダ リン酸 消泡剤 高分子凝集剤 脱水助剤 ボイラー薬品	m3 m3 m3 m3 kg L L 袋 袋 L	データの記録			
環境に優しい活動	清掃・地域貢献の促進		月一回のクリーンデーを開催する	○ or x	○	○	○	○
	環境に優しい活動		サステナブルラリーの平均点を把握し、昨年度より高い数値を目指す	点	12.68	12.81 101%	12.93 102%	13.06 103%

※ 二酸化炭素総排出量：電気「排出係数は東北電力のR4年度実績値0.402kg- kg-CO2 /kwh」・軽油・ガソリン・灯油・LPGの合計（I初値）
2024年4月～2025年3月までの総排出量：160,504.13 kg-CO2

13.環境経営活動計画実績・取組結果の評価

環境目標	課題(何を)	単位	基準(BM) 目 標		年度実績	年度評価	取組結果の評価	次年度計画
			2022年度	2024年度				
二酸化炭素排出量の削減	購入電力の削減	kWh	160,320	155,510 97%	154,119	○	消費電力の大きい水処理設備を不必要時は停止し、運転計画を見直したことで年間の運転日数を減らすことができた。また、寒波が長引いたことにより暖房機器の使用時間が増加した。	継続
					99%			
	軽油使用量の削減	L	41,560	40,313 97%	28,678	○	堰堤築堤工事により重機の稼働時間が増加し、昨年度に比べて軽油使用量が増加したが、無駄な使用が無いように努めたことで目標達成につながった。	継続
					71%			
	二酸化炭素排出量 (購入電力+軽油) の削減	kg-CO2	180,491	175,076 97%	148,427	○	軽油使用量が増加したが、電気使用量の削減ができ、二酸化炭素排出量の目標を達成することができた。	継続
					85%			
総排水量の削減	排水量	m3	9,516	9,231 97%	5,939	○	冬季に配管の凍結対策のため設備を停止したことで総排水量を削減することができた。	変更
					64%			
廃棄物排出量	廃棄物排出量 (ごみ)	kg	600	582 97%	260.0	○	今年度は大掃除の際に発生する廃棄物の量が少なかったため、問題なく達成することができた。	継続
					45%			
化学物質消費量の記録	苛性ソーダ	m3	データの記録		0.0	○	水処理設備での薬品使用はなかった。引き続き使用量の記録をおこなう。	継続
	メタノール	m3			0.0			
	ポリ硫酸第二鉄	m3			0.0			
	硫酸	m3			0.0			
	炭酸ソーダ	kg			0.0			
	リン酸	L			0.0			
	消泡剤	L			0.0			
	高分子凝集剤	袋			0.0			
	脱水助剤	袋			0.0			
	ボイラー薬品	L			0.0			
清掃・地域貢献の促進	○ or ×	○	○	○	○	確実に毎月実施することができている。	継続	
				毎月実施				
環境に優しい活動 (サステナブルラリー)	点		12.68	13.06 103%	13.94	○	サステナブルラリーとして項目が新しくなり、普段の生活から資源・環境を意識した生活を心掛けることで達成することができた	継続
					107%			

※ 二酸化炭素総排出量：電気「排出係数は東北電力のR4年度実績値
0.402kg- kg-CO2 /kwh」・軽油・ガソリン・灯油・LPGの合計（I初値-）
2024年4月～2025年3月までの総排出量：160,504.13 kg-CO2

14.次年度環境経営活動目標

環境方針	環境目標	課題(何を)	具体的方法(どのように)	2022年度の実績を基準(BM)として環境目標				
				単位	基準(BM)	目 標		
					2022年度	2025年度	2026年度	2027年度
省エネルギー	二酸化炭素排出量の削減	購入電力の削減	不要時間の照明消灯の徹底 冷暖房の適切な温度管理	kwh	160,320	155,029 96.7%	154,548 96.4%	154,068 96.1%
		軽油使用量の削減	エコドライブの更なる徹底で削減を図る 効率的(燃費)な運転方法を心掛ける 車両の定期的なメンテナンスの徹底	L	41,560	39,898 96%	39,482 95%	39,066 94%
		二酸化炭素排出量(購入電力+軽油)の削減	二酸化炭素排出量の実績確認	kg-CO2	180,491	174,174 96.5%	173,271 96.0%	172,369 95.5%
節水活動	水使用量の削減	地下水取水量	浸出水の負荷に合わせた設備運転を行う 蛇口をこまめに閉じる 場内道路清掃の雨水利用	m3	1,651.4 (2024年度基準)	1,635 99%	1,618 98%	1,602 97%
廃棄物の削減	廃棄物排出量	廃棄物排出量(ごみ)	裏面をコピー用紙に再利用する 分別の徹底、リサイクルに出す	kg	600	576 96%	570 95%	564 94%
廃化学物質の適正管理	化学物質消費量の記録	化学物質	苛性ソーダ	m3	データの記録			
			メタノール	m3				
			ポリ硫酸第二鉄	m3				
			硫酸	m3				
			炭酸ソーダ	kg				
			リン酸	L				
			消泡剤	L				
			高分子凝集剤	袋				
			脱水助剤	袋				
			ボイラー薬品	L				
環境に優しい活動	清掃・地域貢献の促進		月一回のクリーンデーを開催する	○ or x	○	○	○	○
	環境に優しい活動		サステナブルラリーの平均点を把握し、昨年度より高い数値を目指す	点	12.68	13.10 103.3%	13.14 103.6%	13.17 103.9%

※ 二酸化炭素総排出量：電気「排出係数は東北電力のR4年度実績値0.402kg- kg-CO2 /kwh」・軽油・ガソリン・灯油・LPGの合計（I社様）
2024年4月～2025年3月までの総排出量：160,504.13 kg-CO2

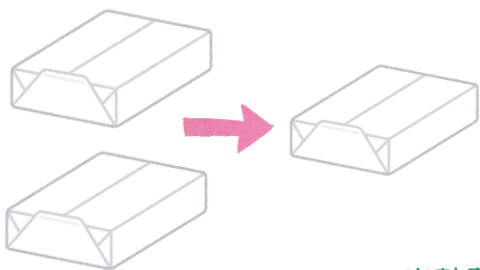
15.環境活動の取組事例



消耗品費の削減

コピー用紙やトナーカートリッジなどの消耗品をできるだけ削減するために（無駄な印刷はしない様）

- ・白黒印刷の推奨
- ・両面印刷の徹底
- ・ペーパーレス（PDF化）を推奨



光熱費の削減

事務所内の電気器具はLED照明を使用しています。休憩時間は勿論のこと、クリーンデーや会議中など事務所内が無人になるときは消灯を徹底しており、こまめにスイッチOFF！！



事務所内のエアコンは温度調節をしっかりと管理しており、朝礼や清掃時の、無駄な暖房や冷房を使わない時間を増やしています！！



水の削減

手洗い時に水道水を流しっぱなしにしないよう心がけています。

給湯室のシンクに直接生ごみはそのまま捨てずに紙等（古紙類）に包んでひと手間をかけた廃棄を心掛けています！！



燃料費の削減

重機はアイドリングストップ運転など、軽油の使用量削減を心がけています。



16.環境コミュニケーション記録

猪苗代湖湖畔清掃・ゴミ拾い（6月）



AED講習（7月）



猪苗代湖湖畔清掃・雑草収集（10月）



行政・県中地方振興局視察



17.その他の活動・取組（1）



・漏洩訓練

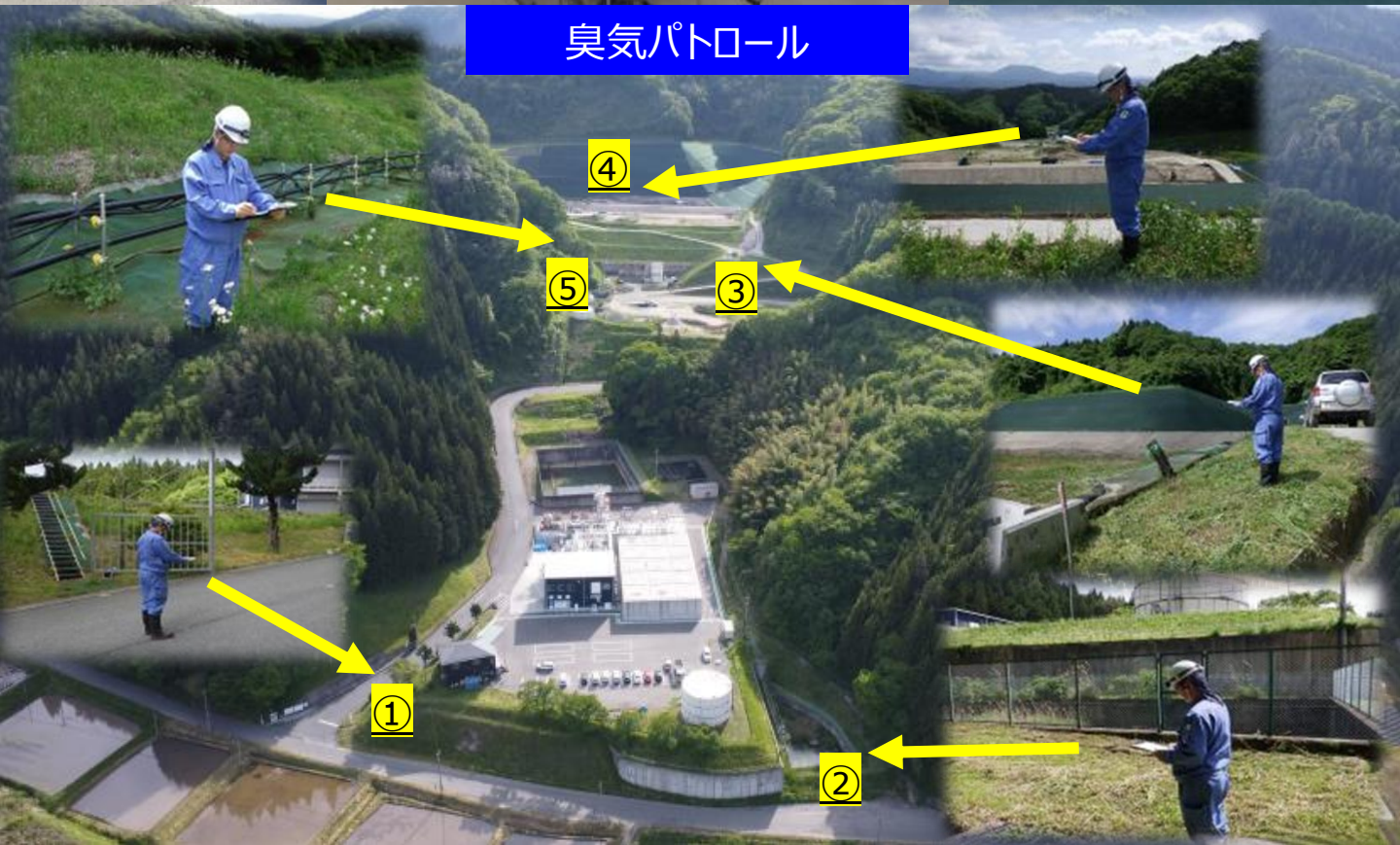


・地震避難訓練

訓練に伴い、座学を通して知識や理解を深め、実践訓練は安全・迅速な対応をとることが出来ました。



臭気パトロール



週1回以上、①～⑤のポイントを対象として臭気の確認作業を行っています

17.その他の活動・取組（2）

コンプライアンス教育

安全・環境教育（熱中症対策）

社内だけではなく、講師を招いてのコンプライアンス教育も行います。

安全衛生協議会

安全パトロール

環境教育訓練計画

【2024年4月～2025年3月】



教育区分					部署名	受講者	教育担当者	教育項目		2024年												2025年		
職能	資格	環境	安全	緊急訓練						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
				○	全員	全員	南茂	地震訓練	予定														○	
									実績														3/31	
			○		全員	全員	南茂	安全関係の教育	予定				○											
									実績							10/9								
			○		全員	全員	南茂	熱中症予防に関する教育	予定				○											
									実績				6/25											
			○		全員	全員	栗原	環境経営方針・組織体制の周知	予定	○														
									実績	4/30														
			○		現場	現場	華山	安全衛生協議会	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
									実績	4/24	5/27	6/24	7/25	8/28	9/25	10/24	11/27	12/20	1/29	2/27	11/22			
				○	現場	現場	南茂	漏えい訓練	予定		○													
									実績														3/31	
				○	現場	水処理担当者	南茂	嫌気性発酵によるガス発生時対応訓練	予定						○									
									実績													2/20		
			○		全員	全員	栗原	コンプライアンス研修	予定				○					○						
									実績				6/25		8/28							2/27		
			○		全員	全員	栗原	ビジネス・コンダクト・ガイドラインについて	予定					○										
									実績					7/30										
			○		全員	全員	リコー ジャパン	AED講習会 (心肺蘇生法とAEDについて)	予定					○										
									実績					7/9										



17.その他の活動・取組 (3)

「SDGs 私たちの約束」

大栄環境グループは、SDGsについて誠意ある取り決めを行い実行していくという意味を含め、2018年に「SDGs 私たちの約束」を制定しました。私たちの業務が持続可能な社会の実現と一体であることに誇りと責任を持ち、これからもSDGsの達成を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステナブルラーとは？

事業所単位で取組成果を見える化した環境活動 です。

大栄環境グループ内において同一書式を使用し、毎月決められた環境に関するテーマに沿って、個人の取組意識と行動を高めるために点数で表しています。

引用：SDGs 私たちの約束 | サステナビリティ | 大栄環境グループ (dinsgr.co.jp)

サステナブルラー 2024

	テーマ	区分	項目	備考	点数	要領および注意事項
1	ウェルビーイング	エシカル	エシカル消費の促進	①消費期限の近づいた値引き商品を購入 or ②「認証マーク」付や「エシカル商品」の購入 ③カーボンフットプリント表示商品の購入	1点	認証ラベルとしてMSC認証やASC養殖場認証など。フードドライブの活用。エシカルとは「人や社会、地域、地球環境に配慮した倫理的に正しい消費行動」という意味合いがあります。
2		健康	自分の健康増進を進めている	私は健康のために【 】 します	1点	「ジムに通う」「ウォーキング」「禁煙・減煙」「定期的な献血」など、「定期的」「習慣的」であることを目標とします。
3		ダイバーシティ	ジェンダー平等を自分事に	男女の別なく、家事/育児を分担する習慣がある	1点	主旨は「家の中の事や育児は女性がするもの」という先入観を無くし、行動に表していく。一人暮らしの人は家事育児以外で項目設定
4		防災	防災で取り残さない	防災チェックを行う	1点	ローリングストック、避難経路、緊急持ち出し袋などの確認を「習慣化」することが目的になります。
5		地域貢献	地域支援に繋がるアクション	ボランティアに参加 1点/回	1点	①地域貢献活動、②社会福祉活動、③自然・環境保護活動、④災害地域復興支援活動のいずれかに参加したら1点/回
6			みどりの活動への参加	1回/月以上の参加	1点	花壇の整備や清掃活動を推進します。 例) 花壇の草引き、花ガラ摘み、水やり など
7		知識	環境川柳の提出	提出首数に関わらず	1点	月毎に異なる環境のテーマに合わせて川柳を考えます。 テーマの例) 4R、脱炭素、節水、省エネ、健康、生物多様性 など
8			環境クイズに答える(環境レターに掲載)	毎月出されるクイズに回答 回答	1点	毎月の環境レターに出題されるクイズに答えるクイズは間違えても自ら考え回答すれば1点
9		スキル	リスキリング	1冊/月以上の本を読む 資格を取得した。2点/回(種類問わず)	1点 2点	娯楽系の漫画、雑誌、小説は除く。 例) 各種専門書、自己啓発本 など 取得した資格の種類は問いません。広く新しい知識の習得につなげる。
10	自然資本	水資源	海や川を汚さない	汚れた水(液体・油)を流さない回数に関わらず	1点	ひどい汚れや油は紙等で拭いてから洗う。洗濯は生分解性の高い石けんや無リン洗剤を適量使う。生活排水で川を汚さないようにする。
11			節水項目	私は節水のために【 】 します	1点	環境省ウォータープロジェクトへ参画しました。 例) 歯磨きをコップでする、雨水をためて花木に水やり、お風呂の残り湯を洗濯に使う など
12	脱炭素	脱炭素	宅配便再配達を防止する	私は再配達防止のために【 】 します	1点	全く宅配利用しない場合は、1点。 例) 宅配ボックスを設置する、コンビニ留めにする、時間指定、置き配 など
13			公私問わず、「脱化石燃料車」の習慣化	公共交通機関の利用、自転車、徒歩等ノーマイカーデーの習慣がある	1点	①「車を意識的に使わない習慣を身に付ける」ことが目的(月1回以上) ②「脱化石燃料車」→電気自動車の購入・使用など
14			業務改善案の提出	CO2削減効果の記載があるものに限り1点/回	1点	提出者及び改善案への参加者が加点対象者です。
15	循環資源	資源循環	回収物(ペットボトルキャップおよびアルミ缶)の提出	ペットボトルキャップ(3個以上)	1点	キャップやアルミ缶の回収をし、寄付に繋がります。
				アルミ缶(3個以上)	1点	
16	循環資源	節電する。こまめな電源	回数に関わらず	1点	1点	人のいない所の電気やエアコンをこまめに消す。
17		ペーパーレスを意識する。	回数に関わらず	1点	1点	片面が使用済みの用紙を、メモ用紙や下書き用紙として再利用する。印刷前にデータの確認を行い、ミスプリントを減らす。

17.その他の活動・取組（4）

地域行事に事業所全体で協賛や参加をしています。

4月：小野城跡補修作業



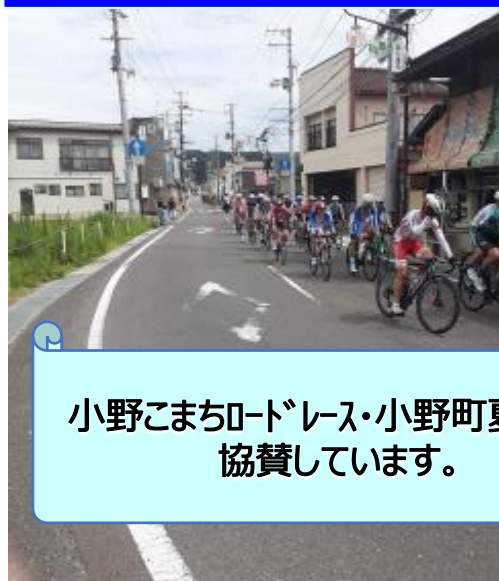
6月：河川敷草刈り



7月：塩庭地区草刈り



7月：小野こまちロードレース



小野こまちロードレース・小野町夏祭りに
協賛しています。

8月：小野町夏まつり



9月：道路草刈り



10月：八坂神社秋季例大祭



1月：小野町諏訪神社初詣



地元の氏神様へ毎年参拝します



17.その他の活動・取組（5）

自社で収集運搬も行っています。

産業廃棄物の最終処分場
特定産業廃棄物の最終処分場

設置者名	株式会社 東北エコクリーン		
産業廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性廃棄物、はくばく物、漆喰くず、ガラスくず、コンクリートくず、工作物の断端、産業又は事業によって生じるものその他、及び陶磁器くず、窯さい、たれきず、はいじん、焼付等第2条第13号に掲げる産業廃棄物（これらのうち石炭粉や産業廃棄物、自動車等破砕物、水陸使用製品産業廃棄物及び水陸含有はいじん等を含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上14種類		
埋立処分の期間	令和4年4月～令和14年3月		
管理者名	華山昌珠	連絡先	0247-72-6657

特別管理産業廃棄物の最終処分場

設置者名	株式会社 東北エコクリーン		
産業廃棄物の種類	廃石綿等 以上 1種類		
埋立処分の期間	令和4年4月～令和14年3月		
管理者名	華山昌珠	連絡先	0247-72-6657

林地開発許可情報

1. 許可内容	平成26年4月1日付 国土省林業振興課 第101号 林業振興課 林業振興課 林業振興課
2. 許可条件	国土省林業振興課 第101号 林業振興課 林業振興課 林業振興課
3. 許可	国土省林業振興課 第101号 林業振興課 林業振興課 林業振興課
4. 許可	国土省林業振興課 第101号 林業振興課 林業振興課 林業振興課
5. 許可	国土省林業振興課 第101号 林業振興課 林業振興課 林業振興課
6. 許可	国土省林業振興課 第101号 林業振興課 林業振興課 林業振興課



収集運搬の様子

小学生環境ポスター

大栄環境グループでは、小学生にも環境への関心を高めてもらうことなどを目的として、「小学生環境ポスター」の募集をしています。

第13回 小学生環境ポスター
もったいないを考えよう！

対象学年 小学校1年生～6年生

応募期限 2024年9月13日(金) 必着

「私たちのもったいない」
・「もったいない」についてポスターを制作してください。
・描いた絵には必ず、標語を入れてください。

賞状
優勝賞状・準優勝賞状、表彰状・入賞状など、
自由に描いてください。

賞品
優勝賞品 3000円相当の図書カード
準優勝賞品 1500円相当の図書カード
入賞賞品 500円相当の図書カード

応募方法
①ポスターを制作し、②応募用紙に記入し、③封筒に入れてください。

応募先
大栄環境株式会社 事業部環境課 ポスター募集係まで
住所 〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 大栄ビル 2F
TEL 022-233-1111 FAX 022-233-1112

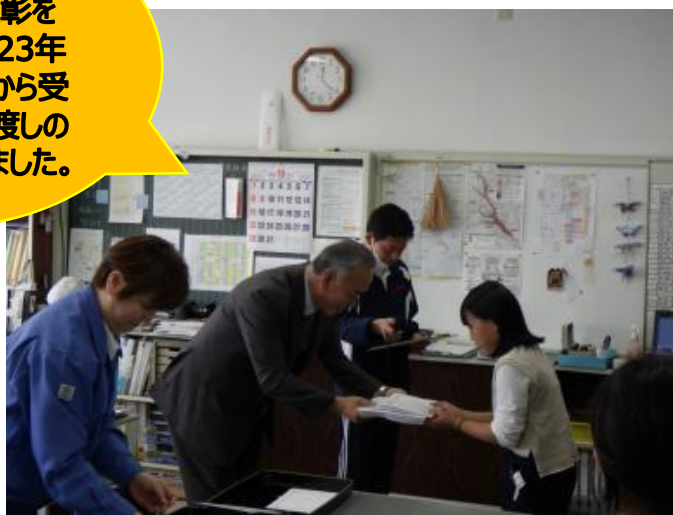
第12回 グループ参加賞 例



たくさんの素敵な
作品をご応募
いただきました！！



東北エコクリーンでは
独自に社内表彰を
設けており、2023年
度は大田社長から受
章者児童へ手渡し
の表彰をおこないました。



17.その他の活動・取組 (6)

- スローガンロゴ



県内外の法人や個人が様々な分野から福島県をそれぞれの形で応援をしていく活動になります。私たちは田村郡小野町を拠点とし、企業として出来ることから参加登録しております。福島県ってどんなところ？など環境に関わることを県内外の方々にアピールする活動をしています。



引用：福島県スローガン「ひとつ、ひとつ、
実現する ふくしま」 - 福島県ホームページ
(fukushima.lg.jp)

[引用地図：町の概要 - 小野町ホームページ \(nk-tech.jp\)](http://nk-tech.jp)

18.代表者による全体評価と見直し

代表者コメント

◎評価

- ◆環境経営活動目標の達成状況・・・すべての目標に対して達成した。
- ◆環境経営活動計画の実施状況・・・事業活動は通年であるが、水処理施設は稼働調整する事が多かった。今後は雨量とともに稼働日数が変動する事で電気使用量も変動する恐れがある。
今後もデータ等の蓄積を継続していき、そのデータを精査し計画を立てていく。
環境に対しての自覚をしっかりと芽生えさせ、環境負荷低減を常に心掛け、継続できるように社員全員で取り組む。

◎見直し

- 環境経営方針・・・内容に変更無く、次年度も周知徹底する。
- 環境経営活動目標・・・水資源に関して内容を変更する。
『水処理施設の排水量』から、より資源に近い『井水の取水量の削減』を目標とする事で、より環境に配慮した活動を行っていく。
その他の項目は、PDCAを活用し社員全員で継続する。
- 環境経営活動計画・・・水資源に関して内容を変更する。
雨水の利用や日常生活においての節水活動を強化する。
その他の項目は引き続き継続し、更に追及していき、必要があった場合は、検討し取組を追加する。

「大きな見直しはありません。」



令和 7 年 5 月 1 日

株式会社 東北エコークリーン

代表取締役 大田 成幸